

## 認知症に関する活動計画（概要）

奈良県作業療法士会 認知症支援委員会では、①士会員への認知症に関する研修、②認知症の人と家族の会 奈良県支部との連携、③自治体での認知症啓発事業協力を3本柱に活動している。①の研修では当事者研修として、認知症のご本人やご家族から講話頂く研修が今年で4年目となる。また、自治体運営のRUN伴への協力参加も2024年度は予定している。

## 世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

家族の会奈良県支部主催のアルツハイマーデー記念講演2023に登壇し『医療の進歩を待つよりも、私、認知症やねんって言える世の中に変える方が近道かも?』といった内容をお話させて頂いた。

2024年は家族の会の人たちと共に奈良市内での街頭活動を行う予定である。



## 認知症の人と家族の会との連携事業

恒例になっている年2回の『本人の集い』に協力参加。全体へ向けたミニ講座では『教えてください、あなたの大切な情報』、『役割の大切さ』についてお話した。

また、2024年は近畿作業療法士連絡協議会認知症班主催の各県の家族の会との交流研修会が開かれ、奈良会場には家族の会世話人7名、認知症支援委員6名、一般士会員1名が参加した。

お互いの活動内容の理解を深め、今後もどのようなことができるかについて話し合った。世話人の高齢化や後継者問題、専門職に参加してもらう上での費用などの課題、地域包括支援センターやグループホームにOTが常駐できるようにならないかなどの要望を頂いた。



## 若手育成事業

地域で認知症支援に携わる士会員を増やすべく研修をしてきたが、なかなか結果が出せずにいた。そこで、2024年度は認知症地域体験研修として、認知症支援委員が参加しているイベントへの士会員の見学参加を実施した。現時点で2回開催し計9名の参加が得られ、今後も継続して参加したいとの声もあり、今後地域支援に参加する士会員の増加の可能性を感じている。